

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1. 教職員の多忙解消について （40分）</p> <p>近年、学校を取り巻く環境が大きな変化を見せる中で、教員と児童・生徒とが向き合う時間が少なくなっている傾向が指摘されるようになっております。</p> <p>平成19年3月の中央教育審議会の答申においても、「学校の管理運営や、外部対応にかかわる業務が増えてきており、結果として教員に子どもたちへの指導の余裕がなくなっている」と指摘されております。</p> <p>埼玉県教育委員会においては平成20年7月に「学校における多忙化解消検討委員会」を設置し、平成21年3月から学校現場の負担の軽減に取り組んでいます。</p> <p>平成22年5月に設置された「学校における負担軽減検討委員会」では学校における負担をどのように軽減するか検討を重ね、平成24年3月に報告書をまとめました。</p> <p>負担軽減の方策については、研修、研究委嘱、学校訪問、部活動指導などについて見直すこととし、学校外の団体との連携や学校の管理運営に関することなどがまとめられております。</p> <p>社会情勢や個人の価値観が多種多様化する中、学校教育の現場においても様々な試みがなされてきたことと思います。しかしその試みは組織的に行うというのではなく教職員のマンパワーに頼ってきた部分も多かったのではないかとも思われます。</p> <p>鶴ヶ島市の小中学校において、この「教職員の多忙」についてどのような問題点が現場であるのか、またその問題点について今までどのような改善を行ってきたのかまた今後どのような方策を盛り込んでいくのかを踏まえて以下質問いたします。</p>	<p>教育委員会 委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(1) 鶴ヶ島市の小中学校において教職員の多忙という課題が起き始めたのはいつごろからでしょうか。</p> <p>(2) 教職員の多忙という課題が年々大きくなっていった理由を教育委員会としてはどのようにとらえていますか。</p> <p>(3) 鶴ヶ島市の教職員の超過勤務の実態はどのようになっていますか。</p> <p>(4) 平成24年3月に公表された学校における負担軽減検討委員会の報告書について鶴ヶ島市の教育委員会においてはどのような位置づけがなされていますか。</p> <p>(5) 鶴ヶ島市において教職員の多忙解消について独自の施策を行ってきましたか。また今後の解消に向けた方策について伺います。</p>	